



JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol.80 OCTOBER 2014 <http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

経産省「自動車補修用 リユース部品、 リビルト部品の規格 策定に関する中間 報告」を公表

経済産業省製造産業局自動車課は8月18日、「自動車補修用リサイクル部品の企画策定に関する研究会」の中間報告を発表した。

同会は、使用済み自動車から回収された有用な部品の再利用を促進するための規格策定について方向性を検討すべく、今年1月14日に設立されたもの。依頼、有識者や業界関係者、消費者代表が参加して計5回開催され、自動車補修用リユース部品およびリビルト部品の現状と課題、規格策定の方向性について議論され、中間報告をまとめるに至った。

自動車ユーザーの抱く 品質等への不安

2013年度に日本損害保険協会を実施された「リサイクル部品に関するアンケート調査」によると、リユース・リビルト部品を利用して修理したカーオーナーの多くは、これら部品に満足しているものの、一部は品質、安全面に不満を感じている。

また、同調査におけるリユース・リビルト部品を使用した修理経験がない理由をみると、「リサイクル部品の存在を知らなかった」、また

「修理業者や保険会社から案内されなかった」との回答が90%を占めている。カーオーナーがリユース・リビルト部品を知らないことが利用機会の損失につながる場合も多く、自動車整備事業者等からカーオーナーに案内しやすい環境を整備することが重要になる。

さらに、リユース・リビルト部品を認知しているカーオーナーのうち、「リサイクル部品に不安・不満があった」ことを理由とし、使用していない割合は約65%を占めた。こうした不安・不満を解消していくためには、カーオーナーが部品の状態を把握したうえで利用選択されることが重要であり、こうした判断の為に必要な情報がわかりやすく提供されることが必要となる。

リユース・リビルト部品に係る 規格策定の方向性

これまで、リユース部品は「分解などの手を加えずに品質確認、洗浄・美化を行った再利用部品」、リビルト部品は「摩耗、劣化した構成部品を新品部品と交換、再組み立てを行った再生部品」として、商品化工程の違いによって区分されてきた。

こうした中、カーオーナーや自動車整備事業者等では、商品化工程の違いではなく、新品部品と比較した機能、性能などの状態によって認知されている。

規格策定に当たってはカーオー

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による
CO2削減効果参考値
平成26年8月
2,725t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方に基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

ナーや自動車整備事業者等に対するわかりやすさにも考慮し、「一度使用された部品を、機能等を還元し再利用するもの」をリビルト部品、「そのまま再利用するもの」をリユース部品として、再利用時の部品の状態で大別して整理することが必要となる。

-次のページへ続く

株式会社リンクスジャパン www.links-jpn.com

<http://www.jara.co.jp/>

株式会社吉岡商店 〒649-6222 和歌山県新市市岡田575-1
Tel:07-3662-2229 Fax:07-3662-1518
Mail:info@yoshiokashoten.co.jp

有限会社セカンドパーツ 〒649-6222 和歌山県新市市岡田695
Tel:07-3661-5311 Fax:07-3661-5314



第6回ロジ研 リサイクル部品統一梱包マニュアル 部品ごとに作成へ

自動車リサイクル部品流通グループやシステム会社、物流会社など8社・団体で構成する「自動車リサイクル部品ロジスティック研究会」（ロジ研）は9月6日、第6回定例会議を開催した。これまでオブザーバー参加だったシステムオートパーツ（土居英幸社長）と部友会（嶋村昭二郎会長）が、正式な参加者として承認された。これまでの流れを引き継ぎ、リサイクル部品の梱包仕様の標準化と高騰する運送費低減を目指し、取り組みについて議論を交わした。参加者から「梱包標準化をする際に、何か品質の信頼性を高める表示を作ったらどうか」という意見が上がるなど多角的な新しい展開を見せ始めている。

運送費低減で議論

会議では、まず前回までに行ったバンパーやドアの梱包動画について話し合った。団体によっては「動画は、会員たちにも梱包を教える上でいい商材になるのではないか」という声が出るなど、梱包動画の有用性について指摘があった。

このことから今後を求めた。それに加え「運送物の損害率は、統一のマニュアルを部品ごとに作成していくことで一致した。まずはエンジン・ミッション・マフラーの3品目の梱包方法を各組織でまとめていく。次回の会議時に、運送会社と摺合せを行いながら適正な梱包仕様の統一を目指す。

近年高まる運送事故への懸念を背景に、今回ロジ研では自動車リサイクル部品の運送事故事例を各組織でまとめていくことを決定した。「事故事例などわかれば梱包の対応も取りやすい」（部品流通システム管理者）ことが大きな要因だ。部品ごとといった細かい規定は設けず、1か月など期間を設けた運送事故事例やクレーム件数のデータ収集を行う。会議では、運送会社側が運送事故原因についての解説を行った。

運送環境の改善を目指す運送会社は、理想的な梱包形状を図面で提案した。大手運送会社担当者は「リターンブルも、バンパー用梱包材もコストなどを見ると長短両方ある。四角い形状がベストだ」とした。ただ、「耐久性が実際にあるのかは、実際のサンプルがなければわからない」という声がリサイクル部品団体側から多く上がったため、実際の試作品を準備する。準備したサンプルを元に部品の梱包の基準などを策定していく。

この他、配達日を翌日ではなく、幅を持たせることで運送会社にとってコスト削減につながるのではないかと提案が行われた。運送会社は「現在、配達日を遅らせることや指定しないことで料金を安くする制度はない」とした上で「配達を早めることや指定することは、負担増加になることは事実だ」と現行システムを説明した。

ロジ研はNGP日本自動車リサイクル事業協同組合、ビッグウェーブ、JARA、ARN、SSG、ブロードリーフ、システムオートパーツ、部友会などで構成され、リサイクル部品物流に関するあらゆる課題を団体を超えて協議することを目的としている。リサイクル部品団体が多く参加しており、今後の議論の方向性に注目が集まる。

（日刊自動車新聞 9月11日）

—前ページの続き

規格策定により期待される効果

①適正な市場環境の形成

リユース・リビルト部品は、供給事業者各社の経営方針、商品化に対する判断基準などに基づき商品化され、市場に供給されており、不具合等が生じた場合には、それを供給した事業者と自動車整備事業者等との取引上の問題とする考えも根強く存在している。

規格化によって関連法令の遵守を含め、供給事業者に求められる取り組みが明確化することにより、規格に基づく自主的取り組みが拡大されるとともに、業

界全体での適正な市場環境が形成されることに繋がると期待される。

②信頼の獲得

リユース・リビルト部品の商品化に当たって必要となる検査や記録、管理の範囲について一定の共通化が図られ、また供給事業者のこれらの取組状況が客観的に評価されることで、供給する部品が補修部品として最低限の基本機能を確保されていることが証明されることになる。

信頼性が高まることにより、市場がより強固なものになることが期待される。

③市場の拡大

リユース・リビルト部品の状態を把握

したうえで利用選択できる環境が整備されることで、カーオーナーの不安感が解消されることが見込まれる。

また、供給事業者に対する信頼性が高まり、従来はこれら部品を積極的に取り扱わなかったルートへの販売が拡大し、部品の状態等が評価されたうえで価格が適正化されることにも繋がると期待される。

リユース・リビルト部品の利用選択の機会が拡大していくことにより、市場が成長することが期待される。

（Garagia 9月号）

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

New ideas come from KOBELCO

Thirty years after putting our first auto-demolition machine on the market, we're leading the field in metals recycling to lower environmental impact

Multi-Dismantling Machines

For dismantling end-of-life vehicles and other appliances, and separating out their complex materials.



SK200



SK135SR

Scrap Loaders

For handling at scrap yard and harbors.
crawler-type: SK260LC, SK350LC, SK480LC



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD.
<http://www.kobelco-kenki.co.jp>

KOBELCO

神钢 无坚不摧!
您满意的选择

新构想源于神钢

汽车拆解机上市30年，神钢推出减轻环境负担的废金属回收新方案。

多功能拆除机

在报废汽车等复合物拆除和解体领域发挥力量。



SK200



SK135SR

废弃物处理

在中间处理工厂和港口大显身手。
履带式: SK260LC, SK350LC, SK480LC



成都神钢工程机械(集团)有限公司
<http://www.kobelco-cg.com>

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

새로운 발상은 KOBELCO에서

자동차 해체기 발매 30년, 환경부하를 한층 억제한 금속 리사이클을 제안.

멀티 해체기

폐자동차 등 복합물의 해체, 분별에 활약



SK200



SK135SR

스크랩 로더

중간처리장이나 항만에서의 핸들링 작업에 크롤러식: SK260LC, SK350LC, SK480LC



(주)삼정건설기계
www.samjung-kenki.co.kr



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

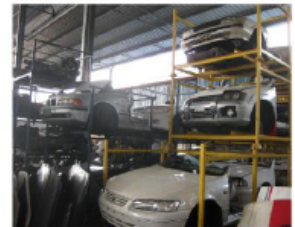
Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



高品質
High Quality
品质高超



低価格
Reasonable Price
价格合理



迅速なデリバリー
Speedy Delivery
交货迅速



優れたサービス
Excellent Service
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



KAETSU Branch